

【宿泊】稲刈りキャンプ

- 開催日 2018年10月6日（土）～10月7日（日）
- 会場 国際自然大学校 日野春校（山梨県北杜市）
- ディレクター名 吉田 怜央（ペッタ）

■キャンプのねらい

- お米の作り方を、体験を通して学ぶ。知る。
- お米のおいしさから、感謝の気持ちを感じる。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

むらじ、まよ、まっく、まいまい、よもじ、ポン、さくぼん、わーら

■活動内容

<1日目>

集合、移動、日野春校到着
稲刈り
お米かるた

<2日目>

脱穀体験
太巻き寿司づくり
移動、解散



田んぼに到着！ファームの方から稲刈りのレクチャーを受けます。



鎌を使ってどんどん稲を刈り進めていきます。



刈り終わったら、稲を干すため「はざかけ」を行いました。



夜は、お米かるたで大盛り上がり！夢中で楽しみました。



2日目は、脱穀体験に挑戦。千歯扱きで脱穀を行います。



新米を使って太巻き作り。息を合わせて作ったお寿司の味は最高！

■キャンプのエピソード

稲刈りに無我夢中

長かった旅路を経て、ようやく田んぼに到着。ファームの方からレクチャーを受け、稲刈りスタート！初めて使う鎌に最初は恐る恐る稲を刈っていきます。しかし、コツを掴むとその手はもう止まりません。ザクザクと無我夢中で刈り進めていきました。その姿を見ていたファームの方からは、「君たちはまさしくプロだね！」と褒められる子もいました。あまりの速さに稲を束ねるスピードが追い着かないほどです。

結局、終了時間ギリギリまで子どもたちは稲刈りに没頭した時間となりました。

脱穀もチームワーク

2日目は脱穀の体験！はじめて使う農具に皆興味津々です。千歯扱きでは、稲が絡まってなかなか引くことができない子も。それを見ていた友だちは、「一緒に手伝うよ！」と脱穀をサポート。おかげであっという間に脱穀が完了しました。

精米では、一升瓶と棒を使って玄米を精米していきます。ですが、「なかなか白くならない！」と一人で苦戦していました。そこで作戦変更！二人一組になって一人が瓶を支え、もう一人が勢いよく棒で突いていました。今回のキャンプでは、班の友だちと共に協力するそんな一面が見られました。